

【記入要領】

本様式は、即時通報を申請する際、通報承認申請書に添付します。

様式第4号（第5条関係）

即時通報に係る体制

申請対象物の名称		
登録者等	所在地・氏名・電話 (法人の場合は代表者職氏名)	① 印
	登録番号	② 第 号
申請対象物直近の待機所	所在地	③
	名称	④ 電話 ()
	出動の手段	⑤ 徒歩 自転車 オートバイ 自動車 その他 ()
	現場派遣員数	⑥ 名
	距離	⑦ km
	通報後到着に要する時間	⑧ 分
かぎの状況	自動解錠装置の有無	⑨ 有 ・ 無
	自動解錠装置の方式	⑩
	内部進入のためのかぎの保有状況	<input type="checkbox"/> 自動火災報知設備の受信機の設置場所までの間 <input type="checkbox"/> すべての居室等 <input type="checkbox"/> その他 ()

備考 内部侵入のためのかぎの保有状況欄には、該当する項目の□にレ印を付すこと。

(日本産業規格A列4番)

- ① 申請対象物から自動火災報知設備の送信信号を受信し、通報を行う者の所在地等を記入します。
- ② ①の通報を行う者が東京消防庁に即時通報に係る登録を行っている場合は、その登録された番号を記入します。
- ③・④ 申請対象物に駆けつける現場派遣員が待機する場所の所在地・名称等を記入します。
- ⑤ ⑦との整合性を図り、該当項目を○で囲みます。
- ⑥ ③において即時通報に従事する現場派遣員の数を記入します。
- ⑦ ③から申請対象物までの実距離を記入します。徒歩の場合 3 km以内、自転車の場合 6 km以内、オートバイ・自動車の場合 10 km以内を範囲とします。
- ⑧ 受信場所から連絡後、現場派遣員が申請対象物に駆けつけられる時間を記入します。
- ⑨ 該当項目を○で囲みます。
- ⑩ メーカー仕様の自動解錠装置の機種名及び使用方法について簡記します。